



つながり

～瞳かがやき笑顔でつながる中央小～

2026（令和8）年
10月9日 配信 No.9

「学校評価（中間評価）を受けて」

爽やかな秋風が感じられるようになり、令和8年度の前期も締めくくりの時期を迎えました。この半年間、子どもたちはそれぞれの目標に向かい、日々の学びや行事に一生懸命取り組んできました。授業や学校生活の中で見せる「できた!」「成長した!」という生き生きとした表情が、校内の至る所で輝いています。

先日、前期の成果をまとめた通知表をお渡ししました。ご家庭でもお子さんの努力や成長のあゆみを一緒に振り返っていただき、「よくがんばったね」と温かくお声かけいただければ幸いです。その一言が、子どもたちの後期への大きな大きな活力となります。

さて、今年度も学校経営目標の達成状況を確認するため、7月に保護者の皆様に「学校評価アンケート」へのご協力をお願いいたしました。お忙しい中、ご回答いただき心より感謝申し上げます。併せて子どもたちにもアンケートを行い、自身の学校生活をじっくり振り返る機会といたしました。皆様から寄せられた大切なご意見・ご感想は教職員の自己評価と照らし合わせ、今後の教育活動をより良くしていくための糧としてまいります。

次ページ以降に、アンケート結果の肯定的な評価（「とてもそう思う」「そう思う」）と、今後の課題となる評価（「あまりそう思わない」「全くそう思わない」）をグラフにまとめておりますので、ぜひご一読ください。

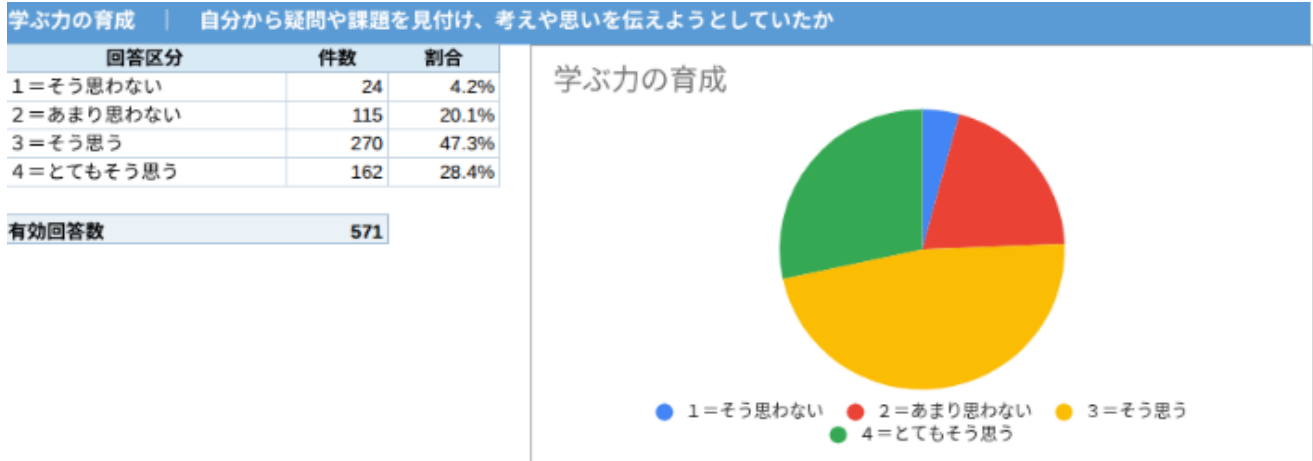
後期も子どもたち一人一人がさらに飛躍できるよう、全教職員が力を合わせてまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解と温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

<アンケート各項目の集計結果と後期の方向性>

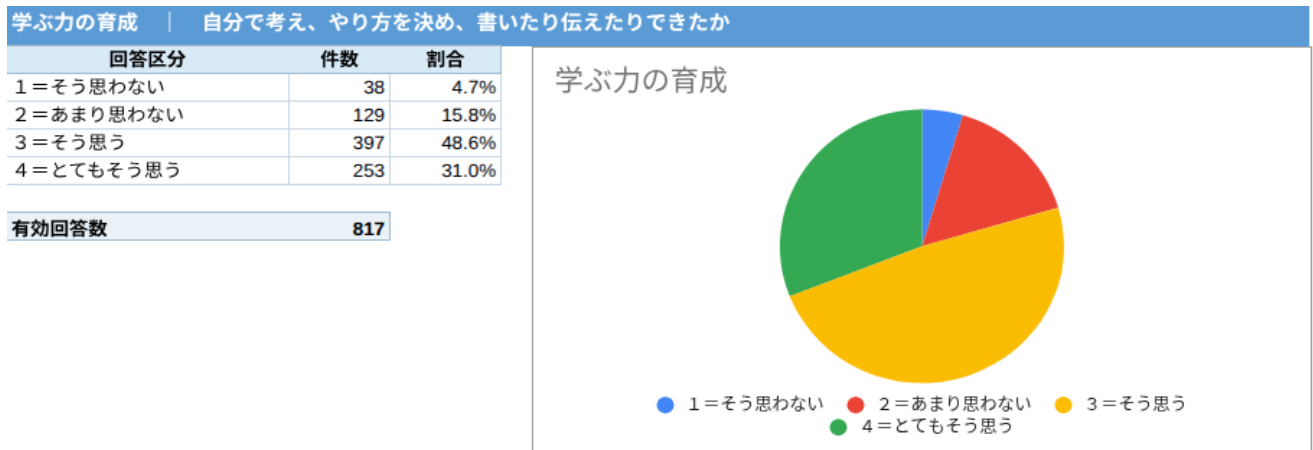
【学ぶ力の育成】

子どもたちは、自分から疑問や課題を見付け、どうすればよいかを考えたり、自分の考えを伝えようとしたりしていましたか。

保護者アンケート



児童アンケート



アンケートの数値結果を比較すると、保護者・児童ともに約 8 割の高い割合で肯定的な回答が得られ、子どもたちが主体的に学びに向かう姿勢が着実に育まれていることがうかがえます。一方で、保護者アンケートでは約 24%の方が「やや慎重な受け止め」をされており、児童自身の自己評価(約 20.5%)と比較すると、ご家庭からの温かくも厳しい視点や、学校での取り組みが見えにくい側面もあることを受け止めております。

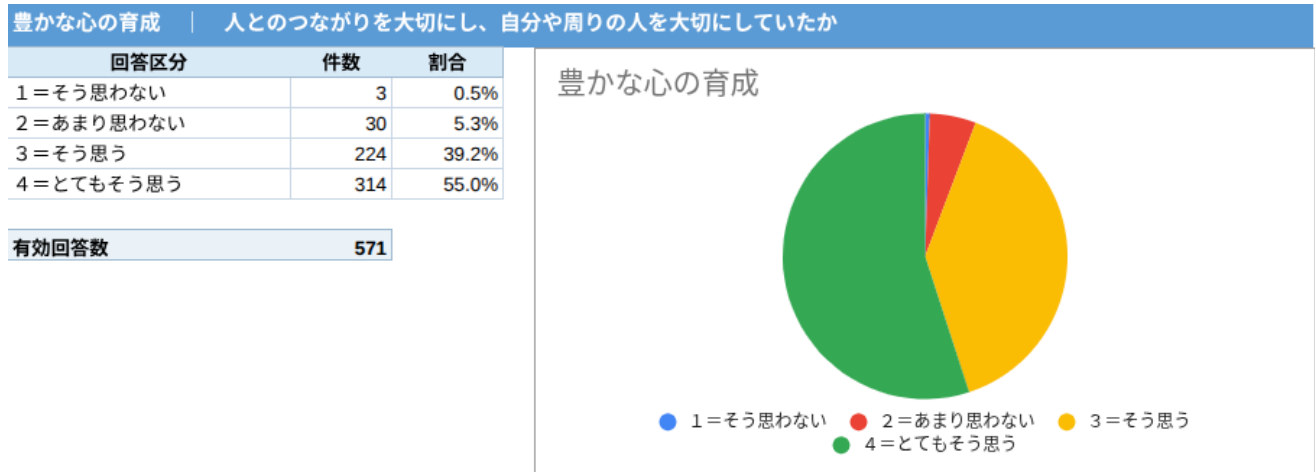
自由記述におきましては、ご家庭での様子として「日常の疑問を自分から質問するようになった」「自らミスノートを作り、学力向上を意識している」「視覚的な授業の工夫で楽しく学習に向かっている」など、子どもたちが主体的に学ぼうとする嬉しいお声を数多くいただきました。その一方で、一つのことに取り組む集中力に課題を感じておられるご家庭もあるようです。

今後は、子どもたちが安心して自分の考えを表現できる学級環境づくりを大切にするとともに、一人一人の「わかった!」「もっと知りたい!」という知的好奇心を引き出し、自ら考える力を育む授業づくりに努めてまいります。ご家庭におかれましても、お子さんの小さな成長や変化に温かいお声がけをいただけますと幸いです。

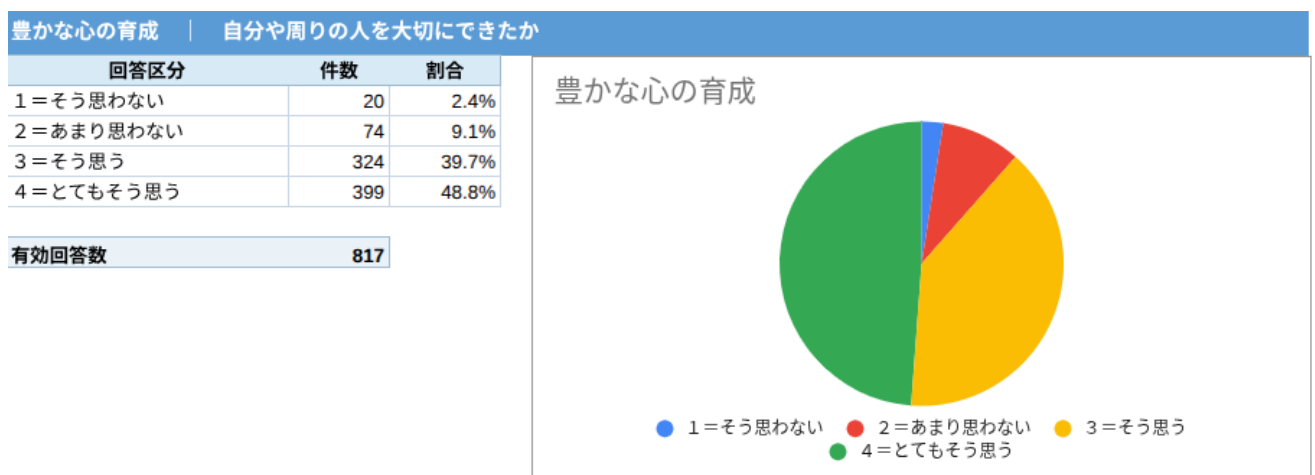
【豊かな心の育成】

子どもたちは、人との繋がりを大切にし、自分やまわりの人たちを大切にしようとしていましたか。

保護者アンケート



児童アンケート



アンケートの数値結果を比較すると、保護者アンケートで90%以上(94.2%)、児童アンケートにおいても85%以上(88.5%)と、双方において非常に高い割合で肯定的な回答が得られました。子どもたちが自分自身や周囲の人たちを大切にし、温かい人間関係の中で成長している様子がうかがえます。一方で、保護者アンケートで約6%、児童アンケートで約11.5%の方が「やや慎重な受け止め」をされており、日々の生活や友人関係の中で、関わり方に難しさや不安を感じる場面もあることを受け止めております。

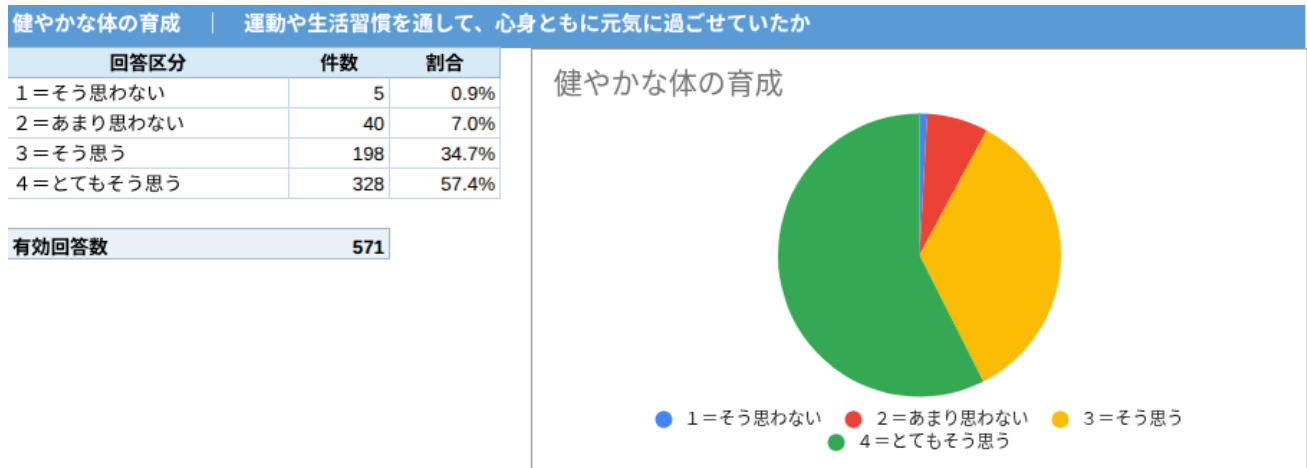
自由記述におきましては、「周りの友達に頼られて嬉しそうにしている」「友達の優しい言葉や行動に感謝するようになった」など、他者への思いやりや感謝の気持ちが育っている様子が数多く伺えます。相手の気持ちを受け入れようと葛藤しながら成長する姿が見られる一方、自己中心的な行動を心配される声もありました。

今後は、子どもたちが互いのよさや違いを認め合い、安心して自分らしく過ごせる環境づくりを大切にしていまいます。引き続き、集団生活の中で相手を尊重し、互いを大切にできる豊かな心を育ててまいります。ご家庭におかれましても、お子さんの思いや成長の姿を温かく見守っていただけますと幸いです。

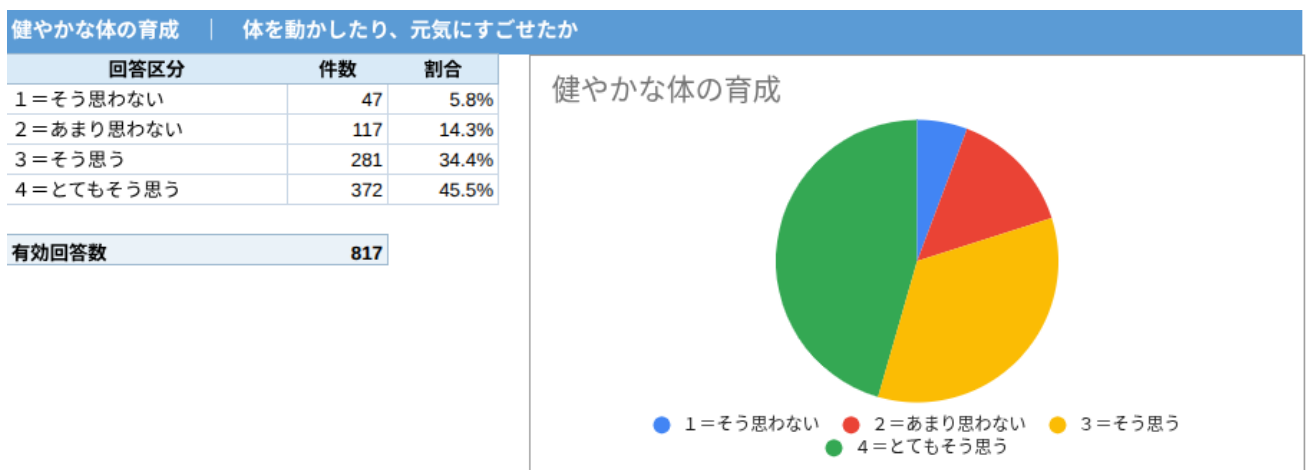
【健やかな体の育成】

子どもたちは、運動や日々の生活習慣を通して、心身ともに元気いっぱい過ごさせていましたか。

保護者アンケート



児童アンケート



「健やかな体の育成」に関するアンケートの数値結果を比較すると、保護者アンケートでは 90%以上 (92.1%) と高い割合で肯定的な回答が得られたのに対し、児童アンケートでは約 80% (79.9%) にとどまり、保護者と児童の受け止めに少し差が見られる結果となりました。保護者アンケートで約 8%、児童アンケートで約 20% (20.1%) の方が「やや慎重な受け止め」をされており、子どもたち自身が日々の運動量や生活習慣について不安や課題を感じている面もうかがえます。

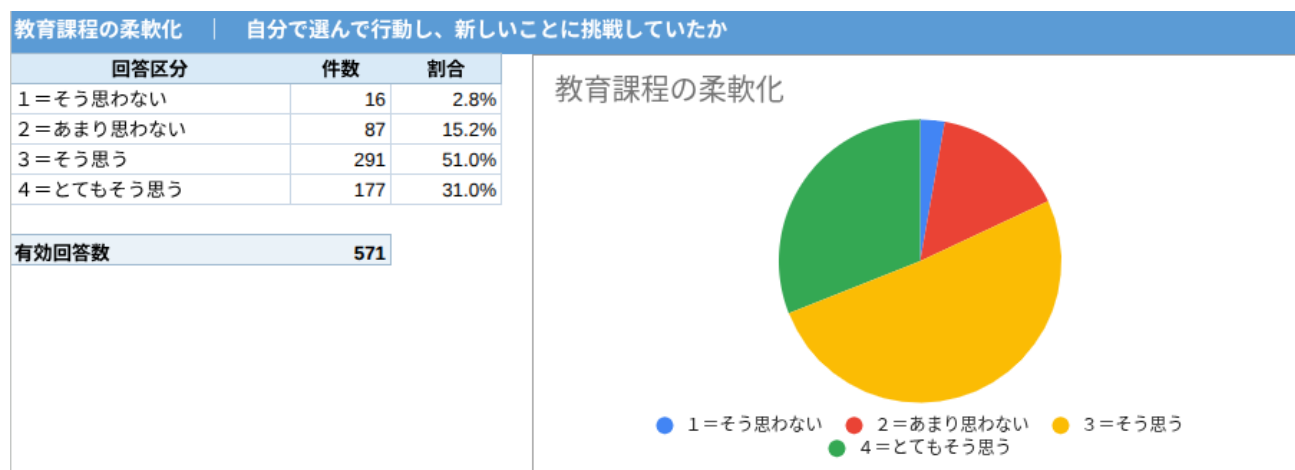
自由記述におきましては、「休み時間に友達とグラウンドで走り回り、汗をかいて帰ってくる」「体育の授業を楽しみにしている」など、学校で心身ともに元気いっぱい過ごしている様子がたくさん見られました。その一方で、放課後や休日に体を動かす機会が少なくとご心配される声もありました。

今後は、子どもたちが楽しく体を動かすことができるよう、学校では「ひろば時間」などを活用し、お友達や先生と楽しく安全に運動できる環境を大切にしていまいります。また、ご家庭とも連携しながら、規則正しい生活リズムの確立と健康的な体づくりに努めてまいります。

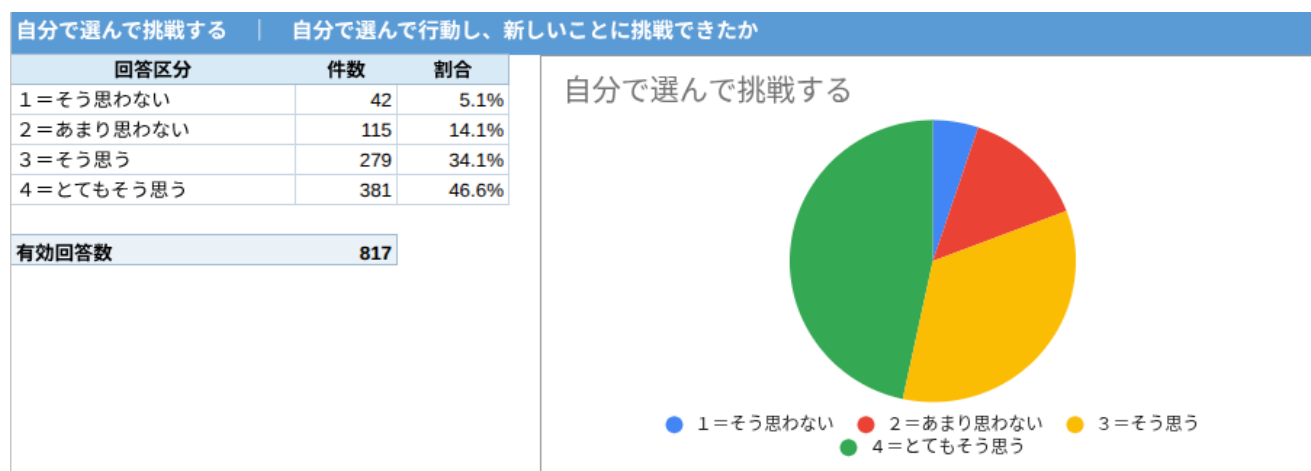
【教育課程の柔軟化】

子どもたちは、教育課程の柔軟化によって、学校生活において、自らの意志をもち、行動を自ら選択・調整しながら生き生きと過ごしていたか。

保護者アンケート



児童アンケート



「教育課程の柔軟化」に関するアンケートの数値結果を比較すると、保護者アンケートで約 82% (82.0%)、児童アンケートにおいても約 81% (80.7%) と、双方において 8 割を超える高い割合で肯定的な回答が得られました。子どもたちが自らの意志をもち、行動を選択・調整しながら生き生きと過ごしている様子がうかがえます。一方で、保護者アンケートで約 18% (18.0%)、児童アンケートで約 19% (19.2%) の方が「やや慎重な受け止め」をされており、新しい日課や取り組みに対して戸惑いや不安を感じている面もあることを受け止めております。

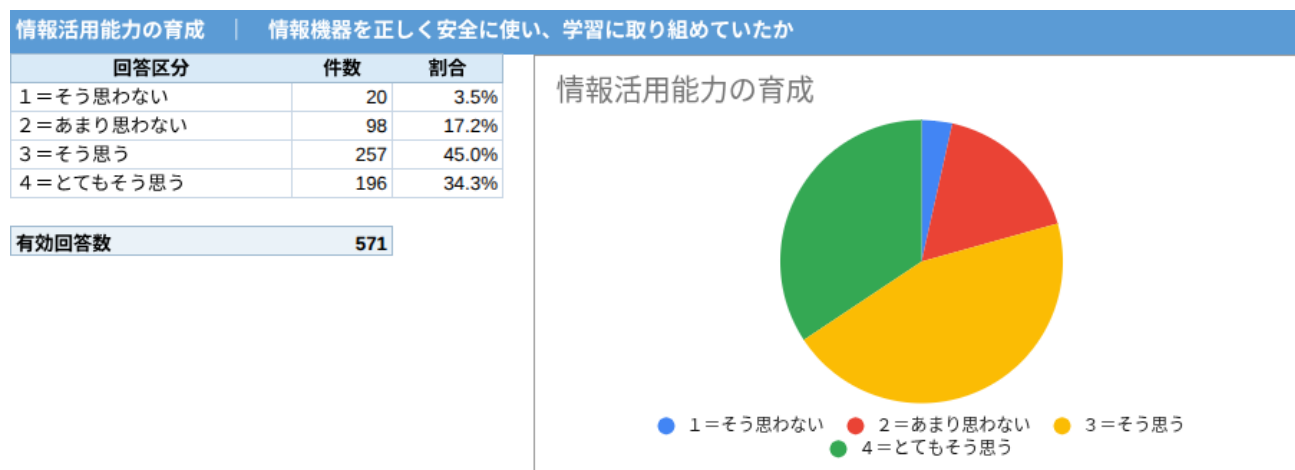
自由記述におきましては、新しい日課について「自分で選んで行動し、新しいことに挑戦する意欲が見られる」「意欲的に学校での役割に取り組んでいる」といった前向きなご意見を数多くいただきました。その一方で、「40 分授業が短く感じる」「新しい日課がまだよくわからない」といったお声も寄せられています。

いただいたご意見を真摯に受け止め、子どもたちが毎日生き生きと学びに向かえるよう、引き続き研究と工夫を重ねてまいります。ご家庭におかれましても、お子さんの学校での様子やご意見がございましたら、温かく見守りつつお知らせいただけますと幸いです。

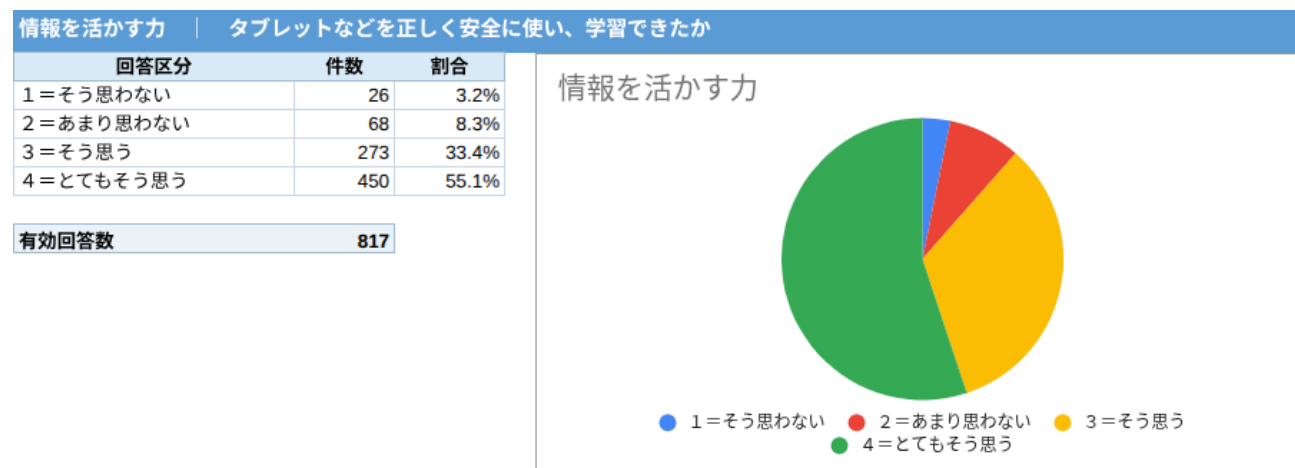
【情報活用能力の育成】

子どもたちは、タブレットなどの情報機器を正しく安全に使いながら、自分で調べたりまとめたりして、友達と高め合いながら学習に取り組んでいるか。

保護者アンケート



児童アンケート



「情報活用能力の育成」に関するアンケートの数値結果を比較すると、保護者アンケートでは約 79.3%、児童アンケートでは約 88.5%と、児童の方がより肯定的に受け止めている傾向が見られます。保護者アンケートでは約 2 割の方が「やや慎重な受け止め」をされており、デジタル機器の安全な活用や家庭でのルールについて関心や不安を持たれていることがうかがえます。

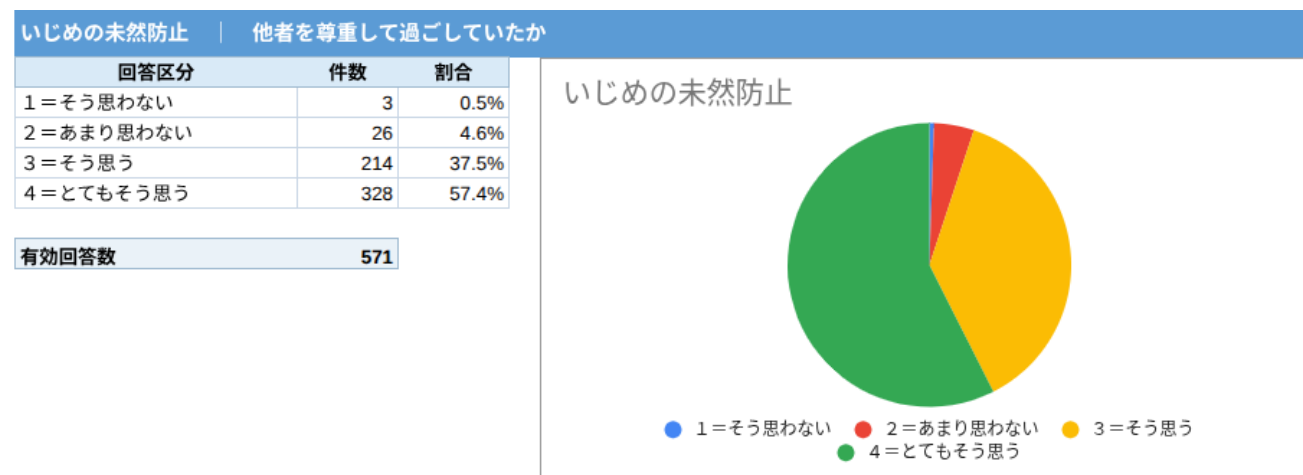
自由記述におきましては、タブレット端末の活用について「疑問をすぐに調べたり、家庭学習に活用している」「タイピングが上達した」と成長を実感される声が数多く寄せられました。その反面、学校での具体的な活用状況が見えにくいことや、家庭での使用ルール、ローマ字入力の習得などに不安を感じるというご意見も多くいただいております。

今後は、学校での取り組みを積極的にお伝えするとともに、情報モラルや安全な使い方についてご家庭と連携しながら丁寧な指導を進めてまいります。ご家庭におかれましても、お子様と一緒に端末の使い方について話題にしていだけますと幸いです。

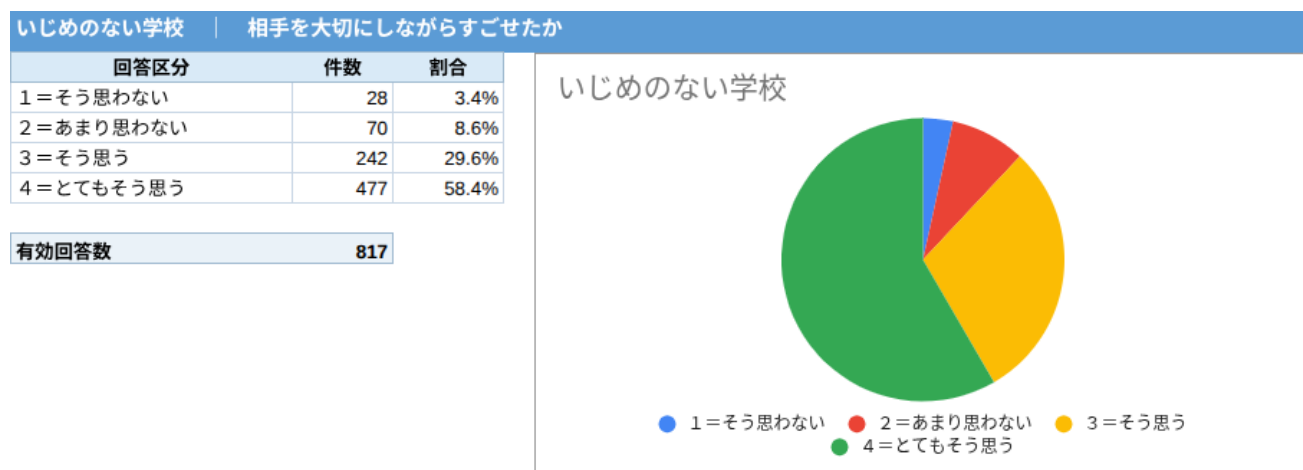
【いじめの未然防止】

子どもたちは、いじめを「しない・させない・許さない」という気持ちをもって、他者を尊重して過ごしていたか。

保護者アンケート



児童アンケート



「いじめの未然防止」に関するアンケートの数値結果を比較すると、保護者アンケートで約 95% (94.9%)、児童アンケートにおいても約 88% (88.0%) と、双方において高い割合で肯定的な回答が得られました。子どもたちが他者を尊重し、互いを大切にしながら過ごせている様子がうかがえます。一方で、保護者アンケートで約 5%、児童アンケートで約 12%の方が「やや慎重な受け止め」をされており、日々の生活や人間関係の中で悩みや不安を感じる場面もあることを受け止めております。

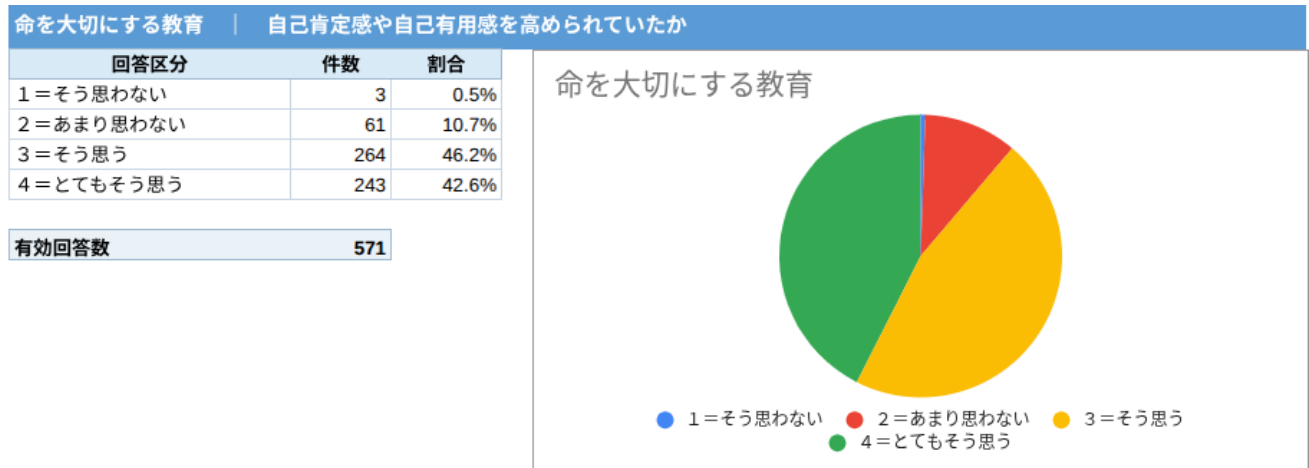
自由記述におきましては、友達関係において「嫌なことがあってもすぐに結論を出さず、相手の理由を考えるようになった」「人を傷つける言葉を使わないよう気をつけている」など、他者を尊重しようとする姿が見られます。その一方で、日常の言葉のトラブルやからかいに関するご心配の声もいただきました。

いじめを「しない・させない・許さない」という心を育てるため、学級全体で話し合う機会を設け、早期発見と未然防止に努めてまいります。ご家庭におかれましても、お子様の様子で気になることがございましたら、いつでも学校にご相談ください。

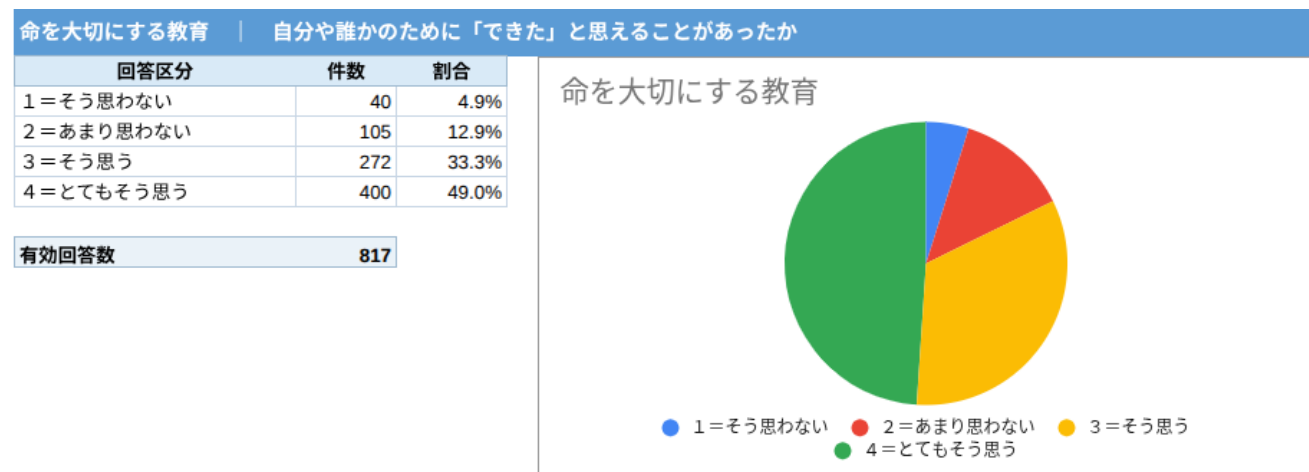
【命を大切にする教育】

子どもたちは、自己肯定感や自己有用感を高めることはできていましたか。

保護者アンケート



児童アンケート



「命を大切にする教育」に関するアンケートの数値結果を比較すると、保護者アンケートで約 89% (88.8%)、児童アンケートにおいても約 82% (82.3%) と、双方において高い割合で肯定的な回答が得られました。多くの子どもたちが自己肯定感や自己有用感を高め、自分や周囲を大切にしようとしている様子が見えられます。一方で、保護者アンケートで約 11% (11.2%)、児童アンケートで約 18% (17.8%) の方が「やや慎重な受け止め」をされており、自分に自信を持ちきれなかったり、成長の過程で不安を感じたりしている場面もあることを受け止めております。

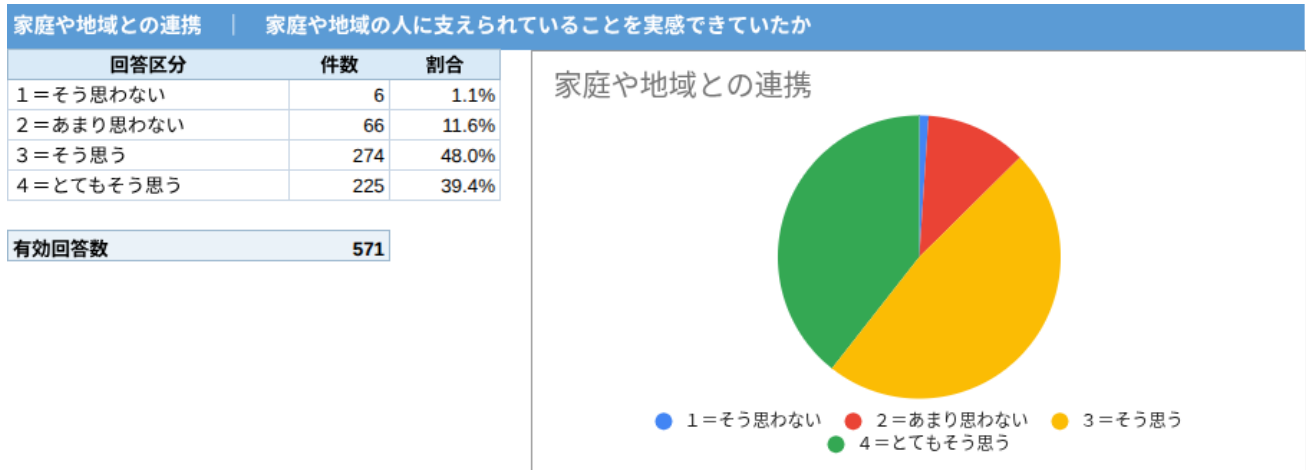
自由記述におきましては、「友達に勉強を教えて感謝された時に喜びを感じている」など、誰かの役に立つことで自己有用感を高めている様子が見えられます。また、「スモールステップを重ねながら、さらに達成感や自己肯定感を高めてほしい」という温かい親心も寄せられました。

今後は、失敗を恐れず挑戦できる環境を整え、子どもたちが自分自身の価値を実感し、互いの命を大切にできる教育を推進してまいります。ご家庭におかれましても、お子さんの歩みや頑張りを温かく見守り、声をかけていただくと幸いです。

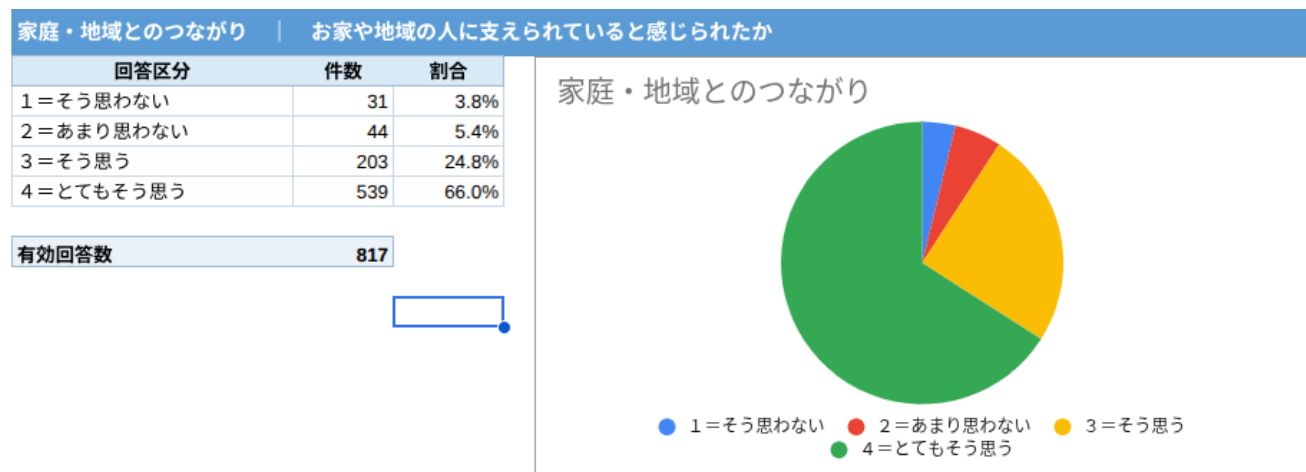
【家庭や地域との連携】

子どもたちは、家庭や地域の人に支えられていると感じることができていましたか。

保護者アンケート



児童アンケート



「家庭や地域との連携」に関するアンケートの数値結果を比較すると、保護者アンケートで約 87% (87.4%)、児童アンケートにおいても 90%以上 (90.8%) と、双方において高い割合で肯定的な回答が得られました。子どもたちが家庭や地域の人々に温かく支えられていることを実感しながら過ごしている様子が見えられます。一方で、保護者アンケートで約 13% (12.7%)、児童アンケートで約 9% (9.2%) の方が「やや慎重な受け止め」をされており、家庭や地域との関わりをより実感できる機会づくりへの期待も受け止めています。

自由記述におきましては、「『ありがとう』と言ってくれることが増えた」「ボランティア体験を通して社会に関心を持つようになった」「地域の方との手紙のやり取りがコミュニケーションのきっかけになった」など、ご家庭や地域の皆様の温かいお力添えによって子どもたちが育っていることが伝わってまいります。

保護者の皆様、地域の皆様に見守られている安心感が、子どもたちの確かな成長の基盤となっています。日頃からの手厚いサポートに心より感謝申し上げますとともに、今後とも学校・家庭・地域が一体となった教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

=====

多くのご意見をいただきありがとうございました。いただいたご意見を今後の教育活動に生かし、これからも学校とご家庭の思いや願いを伝え合い、子どもたちの更なる成長につなげていきます。

また、ご意見とは別に、学校に対する温かい励ましの言葉もたくさんいただきました。本当にありがとうございました。

中央小学校の子どもたちのために、よりよい教育活動を実施してまいりますので、引き続きご理解とご協力をいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。